

大学自己評価部会だより

第91号 (令和6年1月)

ディプロマポリシー

大学院歯学研究科では本学の理念および教育研究目標にもとづき、学位授与の方針が明確に定められています。ディプロマポリシーとは、学位授与の判断のための基本的な考え方として、育成する人材が身につけるべき能力を示したものです。

歯学専攻のディプロマポリシー

1. 生命科学に関する幅広い知識を習得し、自らが主体的に研究を遂行できる総合的能力が備わっていること
2. 専門的医療人として、科学的根拠に基づいて論理的な思考を展開する能力を有し、先駆的医療の発展に貢献する能力が備わっていること
3. 生涯にわたり研鑽し、全身の健康という視点に立った口腔領域の研究を先端的・独創的に推進する能力が備わっていること
4. 学際領域の学問分野と協働し地域社会と連携した研究を展開し、地域社会の発展に寄与する能力が備わっていること
5. 多職種と連携した歯科保健医療活動を通して、社会貢献する能力が備わっていること
6. 海外の研究者との積極的な情報交換を行い、国際社会へ研究成果を発信できる能力が備わっていること

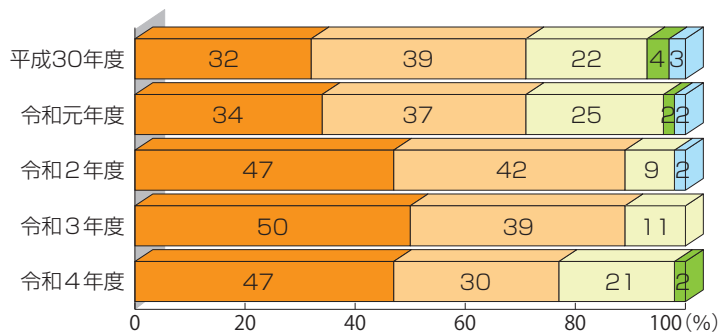
アンケート調査結果を報告します

大学院生の履修科目についての満足度、履修の方法や制度の理解度および研究の実態などについて、平成30～令和4年度の5年間を比較しました。

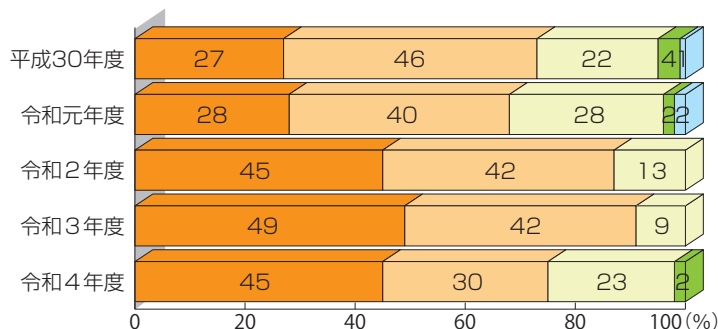
① 主科目および副科目・選択科目に対する満足度

主科目および副科目・選択科目の「高い」「少し高い」の割合が、令和4年度は3年度と比べ減少していました。これらの科目の満足度が増加するように、問題点を把握し、改善を進めていかなくてはなりません。

主科目に対する満足度



副科目・選択科目に対する満足度



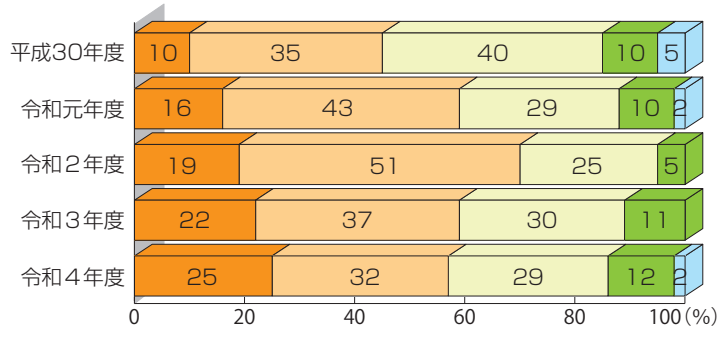
高い
少し高い
普通
少し低い
低い

② 授業要綱や学習相談などについて

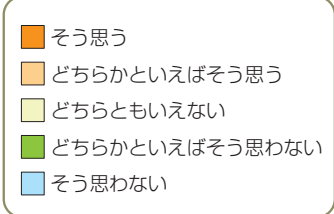
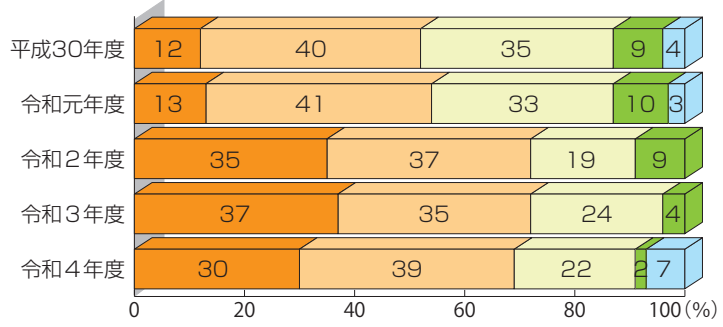
授業要綱の分かりやすさ、学習相談の適切さは、令和3年度以降、維持されています。学習面でのニーズの把握の「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合が、令和4年度は3年度と比べ増加していました。



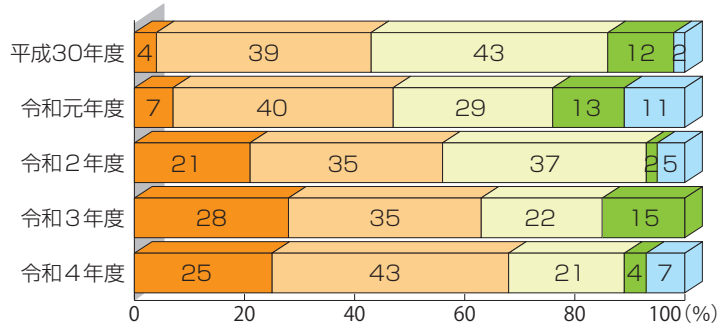
授業要綱は
分かりやすいですか



学習相談や助言などは
適切に行われていると
思いますか



大学は皆さんの
学習面でのニーズを
適切に把握しているか
と思いますか

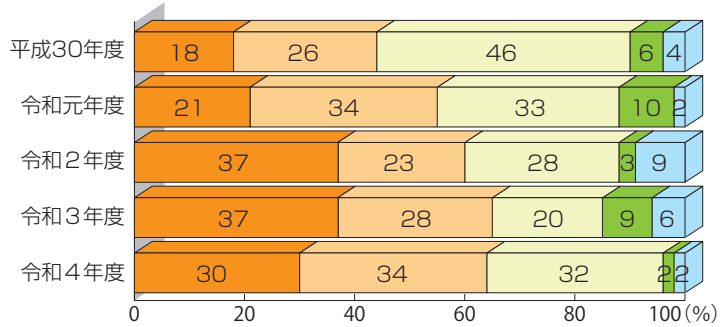


③ 研究指導に対する満足度

研究指導に対する満足度の「高い」「少し高い」の割合は、令和3年度以降6割を維持しています。さらに、令和3年度から4年度にかけて満足度の「低い」「少し低い」の割合の減少が認められました。



現在の研究指導に
満足していますか



この「大学自己評価部会だより」にご意見の方は kikaku@kyu-dent.ac.jp へお願いいたします。